

6月23日(水) 施設内研修会「褥瘡・床ずれについて」

今回の研修会では、訪問看護のSさんより褥瘡・床ずれについてお話がありました。

○褥瘡・床ずれとは…

身体に加わった外力は、骨と皮膚の間の軟部組織の血流を低下、あるいは停止させる。
この状況が一定期間持続されると組織は不可逆的な阻血性障害に陥り褥瘡になる。

○褥瘡の発生要因は何か…

局所的要因

- ・加齢による皮膚の変化
- ・摩擦・ズレ
- ・失禁・湿潤
- ・局所の皮膚疾患

全身的要因

- ・低栄養・やせ
- ・加齢・基礎疾患
- ・薬剤投与
- ・浮腫

褥瘡発生

社会的要因

- ・介護力（マンパワー不足）
- ・情報不足
- ・経済力不足



※褥瘡を起こしやすい病気は？

骨盤骨折・脊髄損傷
糖尿病・脳血管疾患
が代表的。

※考慮すべき疾患は？

悪性腫瘍・アルツハイマー・うっ血性心不全・関節リウマチ・骨粗鬆症・深部静脈血栓症・パーキンソン病
・慢性閉塞性肺疾患・抹消血管疾患・尿路感染症などの疾患。(注意が必要)

○褥瘡予防とポジショニング

褥瘡予防とは、動けないことにより起こるさまざまな悪影響に対して予防策を立てることです。ポジショニングを行う目的は、局所に集中している体圧を分散すること。接触面積が広がることで、患者は安全・安楽を得られます。→（現状維持から改善に役立つ）

✳外用薬の使い方について（創の状態によって外用薬の種類も変わります）

- ・浅い褥瘡 発赤・紫斑 … 創面保護が重要（白色ワセリン）
- ・びらん（脆弱になった表皮が真皮から剥がれて滲出液が出た状態のこと）、浅い潰瘍（表皮が剥がれるだけでなく真皮の一部が損傷を受けて潰瘍化した状態）…アクトシン軟膏（外用薬）/ドレッシング材（グラニューゲル）

※ドレッシング材とは…創の湿潤環境を保持し治療環境を整える機能がある。

- ①創を保護。
 - ②創面を閉鎖し、湿潤環境を形成する。
 - ③乾燥した層を湿潤させる。
 - ④浸出液を吸収し保持する。
 - ⑤感染をコントロールする。
 - ⑥疼痛を緩和する。
- ・浸出液が多い場合…（ユーパスタ（外用薬））・浸出液が少ない場合…ゲーベンクリーム/グラニューゲル（ドレッシング材を選択していく必要がある。）

<当施設で使用している薬剤は？>…ユーパスタ（除菌効果・白糖による創傷治療効果・壊死組織を除去するとともに、浸出液の吸収や浮腫の改善で感染制御、肉芽形成）/ゲーベンクリーム（幅広い病原菌に有効、特に緑膿菌に強い抗菌効果）/アクトシン・プロスタンディン・イソジンゲル（肉芽形成と上皮化促進・滅菌効果）です。

その他、褥瘡予防における体位の特徴（マットレス・クッションの選択や体圧分散マットレスの当て方）など、たくさんのお話がありました。姿勢を直してあげることも褥瘡予防になること。ふくらはぎなど挟む時は、クッションを平に置いてあげること。（縦置きは×）

✳褥瘡は、医療と介護の連携で治すことが望ましいとされております。

従業員が連携し、ご利用者様の予防改善に繋がるよう今後も研修会やミーティングを続けていきましょう。

皆様、研修会お疲れ様でした。引き続き感染症対策のご協力宜しくお願い致します。

